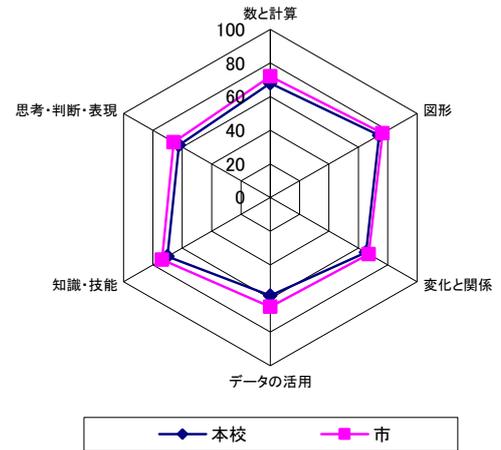


# 宇都宮市立錦小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と計算	68.0	72.1	74.6
	図形	74.2	76.5	76.1
	変化と関係	65.2	67.1	59.7
	データの活用	58.3	65.0	64.5
観点別	知識・技能	70.1	73.8	74.7
	思考・判断・表現	62.3	65.8	61.9

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



## ★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	<ul style="list-style-type: none"> <li>平均正答率は68.0%で市より4.1ポイント低かった。</li> <li>○比較量、基準量が分数の場合において、比較量が基準量の何倍になるかを求める式を選択する問題は8.7ポイント高かった。</li> <li>●約分のある真分数＋真分数の通分して約分する計算問題では、正答率が767.4%で市より9.3ポイント低かった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な計算の反復練習を継続して行い、定着を図るとともに、個別指導を通して、一人一人のさらなる習熟を図る。</li> <li>具体的な場面と式を結びつける学習を可能な限り取り入れ、活用する力を養う。</li> </ul>
図形	<ul style="list-style-type: none"> <li>平均正答率は74.2%で市より2.3ポイント低かった。</li> <li>○点対称な図形の対応する2つの点を結んだ直線の長さを選択する問題の正答率は89.1%で市より5.2ポイント高かった。</li> <li>●正多角形の中から、点対称な図形を選択する問題の正答率は69.6%で市より10.6ポイント低かった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>示された図形の面積を求めたり、求め方について筋道を立てて考え説明する力はよく身に付いているので、更なる定着を図っていく。また、対称な図形に関しては、実際に作図を行う活動などを行い、習熟を図る。</li> </ul>
変化と関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>平均正答率は65.2%で、市より1.9ポイント低かった。</li> <li>○基準量と割合から比較量を求める問題の正答率は60.3%で市より4.3ポイント高かった。</li> <li>●表から車両数と人数の割合を求め、どの路線が最も混んでいるかを問う問題の正答率は60.9%で市より8.5ポイント低かった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>単位量あたりの大きさ・速さの問題に苦手意識をもっている児童には、比較量と基準量の求め方や違いについての基本問題に反復して取り組ませる。</li> </ul>
データの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>平均正答率は58.3%で、市より6.7ポイント低かった。</li> <li>○円グラフを正しく読み取り、答えを選択する問題の正答率は60.3%で市より6.3ポイント高かった。</li> <li>●ドットプロットのデータから最頻値を読み取る問題の正答率は58.7%で市より17.3ポイント低かった。</li> <li>●度数分布表を完成させる問題の正答率も69.6%で市より16.1ポイント低かった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>代表値の意味や求め方、度数分布を表す表やグラフの特徴と使い方について、様々な問題に取り組ませることで、表やグラフで表されたデータを多面的に分析し、活用する力の伸長を図る。</li> <li>データを収集したり分析したりする際、身近で関心の高い題材についてのデータを取り入れ、データ活用への関心を高める。</li> </ul>